

森林ふれあい・森林技術部門で受賞

令和元年度 業務研究発表会

十一月二十六日(火) 林野庁において、令和元年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

四国局から以下の3部門に4課題を発表した結果、森林ふれあい部門で「林野庁長官賞(優秀賞)」、森林技術部門で「日本林政ジャーナリスト会長賞」を受賞しました。

森林技術部門

○「二回目の列状間伐を通じた列状間伐の普及に向けて」

(日本林政ジャーナリスト会長賞)

齋藤 公平(高知中部署)

水田 英司(局資源活用課)

○「冬下刈の普及を通じた作業負担の軽減・コスト削減に向けた取組について」

江嶋 健人(四万十署)

福山 敦之(局森林整備課)

森林ふれあい部門

○「中山間地ロケット・ユスハラシビエCTを活用して地域と共に鳥獣被害を防止」(林野庁長官賞 優秀賞)

森田 晃喜(四万十署)

森林保全部門

○「災害発生箇所におけるドローン活用の効果・検証について」

黒岩 玲子(局治山課)

吉元 崇紘(局治山課)

川口 慎弥(嶺北署)

発表された皆さま、ご苦労さまでした。

木に触れる、森に親しむ

こうち山の日「キッズフェス」

11月17日(日)に、高知県立森林研修センター情報交流館において、「こうち山の日」情報交流館まつりキッズフェスが開催されました。このフェスは、多くの子どもたちが木や森、自然に親しむためのイベントです。

局からはクリスマス用のドアノブ作りなど、木のおもちゃ体験コーナーに参加



しました(写真)。局ブースにはおよそ350名が訪れ、木の温もりに触れるなど大いに盛り上がったキッズフェスとなりました。

当日までの準備を含め、協力を頂いたボランティアの皆さま方に感謝します。

【編集後記】

令和元年も師走に入り、寒さも一段と厳しくなりました。この季節、毎日の体調に留意、あわせて風邪対策も十分に、猪(い)年から子(ね)年へ。

「四国森林・林業研究発表会」

令和2年 1月22日(水) に開催(局大会議室)

令和元年度「四国森林・林業研究発表会」を、令和2年1月22日(水)に局大会議室で開催します。

局署等の発表課題名(発表順 現時点)

1. 再造林地でのノウサギ食害対策について(経過報告)
森林技術・支援センター
2. 獣害防護柵と忌避剤を用いたノウサギによる被害防止の取組について
高知中部署
3. 南小川地区沖(下)における地すべり防止対策工事について
嶺北署
4. 林道延伸による資源開発の実態
愛媛署
5. 高齢級ウバメガシ林分の更新試験について
四万十署
6. 「生分解性素材」を使ったコンテナ苗の普及に向けて
局森林整備課
7. 愛媛森林管理署におけるインターンシップの取組
愛媛署
8. 木の文化を支える活動(シラクチカズラ資源の保全と活用に係る連携・協力にかかる協定に基づく活動)
徳島署・三好市教育委員会
9. 無線とモバイル通信を活用したシカワな遠隔捕獲通知システムについて
香川所
10. UAVを活用した林分材積調査の実証について
四万十署・安芸署